3D対応モデルを
ご購入いただいたお客様へ

3D対応モデルをご購入いただいたかたは、必ずこの冊子をご覧ください

本冊子では、3D対応モデルで3Dコンテンツを楽しむための方法や、注意事項について説明しています。
3D機能をお使いになる前に必ず本冊子をご覧になり、記載されている注意事項を守ってコンテンツをお楽しみください。

811064282A

3Dコンテンツを楽しむ

このパソコンでは3Dコンテンツを楽しむことができます。ここでは、3D表示のしくみやこのパソコンで3Dコンテンツを視聴する方法、視聴する際に注意していただきたいことなどについて説明します。

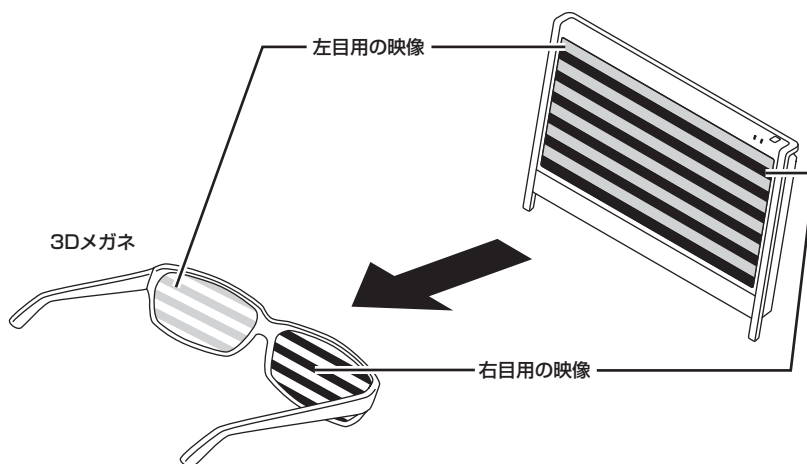
チェック!! 3Dコンテンツは、画面を正面にして両目を水平に保ち、約65cm離れて視聴していただくと目の負担を軽くすることができます。

3D表示のしくみ

私たちは、物体を見る際に右目から見える物体の像と左目から見える物体の像を1つの像としてとらえます。目の位置は左右で異なるため、右目から脳に送られる像と左目から脳に送られる像には差(両眼視差)が生まれます。脳内で左右の目から送られる像を1つにする際に、両眼視差を手がかりにして見ている物を立体だと感じています。

3D表示のしくみは、この両眼視差を利用しています。あらかじめ、右目用と左目用の映像を用意し、立体を感じることができる両眼視差に調節してディスプレイに表示します。次にディスプレイの映像を3Dメガネ(偏光板方式)※の働きで右目用の映像と左目用の映像に分け、それぞれの目に送ります。これにより、私たちは脳内で左右の目から送られる像を1つにする際に、映像に立体感や奥行きを感じることができます。

※以降、3Dメガネと呼びます。

チェック!! このパソコンのディスプレイに保護フィルムを貼った場合、正しく3D表示できない場合があります。

イラストは、機種によって異なります。

3Dコンテンツを視聴するときのご注意

本製品で3Dコンテンツを視聴するときに注意していただきたいことについて説明しています。人体への傷害や財産の損害を防ぐため、各注意を守って3Dコンテンツを視聴してください。

- 映像やコンテンツによって、3Dの映像として見えにくい場合があります。また、3Dの映像やコンテンツの見え方には個人差があるため、3Dの映像として見えにくい場合があります。
- 3Dの映像の視聴中に、映像が二重に見える場合や立体的に感じにくい場合は、いったん視聴を中止してください。その後、視聴位置やソフトウェアの設定を確認してください。
- 3Dの映像を視聴する際、デスクトップの解像度をご購入時の設定から変更している場合は、ご購入時の設定に戻して視聴してください。
- 3Dの映像の表示方式は複数あるため、ご購入時にインストールされているソフトウェア以外の3Dコンテンツや、ブルーレイディスクをご利用・ご購入の際には、どの表示方式に対応しているのかを視聴する前にご確認ください。また、ご購入時にインストールされているソフトウェア以外の3Dコンテンツの動作については、各コンテンツメーカーへお問い合わせください。
- 3Dの映像を安全にご利用いただくための注意事項などの詳細は、「3DC安全ガイドライン」(http://www.3dc.gr.jp/jp/scmt_wg_rep/guide_index.html)をご覧ください。

表記の意味について

記載内容を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

	人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

傷害や事故の発生を防止するための禁止事項は、次のマークで表しています。

	一般禁止 その行為を禁止します。

傷害や事故の発生を防止するための指示事項は、次のマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。

3Dコンテンツを視聴するときのご注意

⚠注意

●**3Dの映像や3Dの画像を見るときは3Dメガネを必ずご使用ください。**

体調不良、不快感などの原因になることがあります。

●**3D放送や3D映像を視聴する場合で、2D(3Dではない)部分と3D部分が混在するときは、3Dモードで視聴中でも、2D部分は3Dメガネをかけて視聴しないでください。**

強い違和感により体調不良の原因になることがあります。

●**光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3Dメガネを使用しないでください。**

病状悪化の原因になることがあります。

●**本人あるいは家族にてんかんの病歴がある場合、医療機関にご相談の上、3D映像をお楽しみください。**

症状の悪化や発作のおそれがあります。

●**3D映画などをご覧になる場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとってください。**

●**3Dの映像や3Dの画像をご覧になる場合は、30 ～ 60分を目安に適度に休憩をとってください。**

長時間の視聴による目の疲れの原因になることがあります。

●**視聴中に、像が二重に見えたり、疲労感、不快感などの異常を感じたりした場合は、使用を中止してください。**

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。適度な休憩をとってください。

●**3Dメガネを使用しているときに誤って画面や人をたたかないでください。**

3D映像のため、画面との距離を誤り、画面をたたきけがの原因になることがあります。

●**転倒のおそれのある場所で3Dの映像を視聴しないでください。**

吐き気、知覚･視覚の異常や方向感覚の喪失、眼精疲労、姿勢が不安定になるなどの症状を引き起こす可能性があります。

●**3Dメガネを上下逆に装着して視聴しないでください。**

右目と左目に映像が正しく表示されず視聴不良や不快感の原因になることがあります。

⚠注意

- **3Dメガネは、寝転がったり身体を傾けたりせず、両目を水平に近い状態にして使用してください。**
- **近視や遠視のかた、左右の視力が異なるかたや乱視のかたは視力矯正メガネの装着などにより、視力を適正に矯正した上で3Dメガネを使用してください。**

長時間の視聴による目の疲れの原因になることがあります。

- **画面の正面方向に適正距離をおいた視距離で視聴してください。**

推奨距離：約65cm

推奨距離より近距離でのご使用は目の疲れの原因になることがあります。
推奨距離は目安であり、3Dの映像やコンテンツの見え方には個人差があります。

3Dメガネを使用するときのご注意

⚠注意

●本製品に添付されている3Dメガネは、NECパーソナルコンピュータ(株)が指定するパソコンとの組み合わせで使用する3D専用メガネです。ほかの機種に使用しないでください。

正しい方法で視聴できず、目の疲れ、体調不良の原因になることがあります。

●3Dメガネは、サングラスとして使用しないでください。

紫外線を遮断しないため、目を傷めるおそれがあります。

●3Dメガネでの視聴年齢については、5～6歳以上を目安にしてください。

●小さなお子様が3Dの映像を見るときは、保護者が十分配慮してください。

視機能の発達に障害を与える原因となる事があります。小さなお子様が視聴する場合は、疲労や不快感などに対する自覚症状がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。保護者が視聴環境の調整や目の疲れがないか注意し、保護者の管理のもとに、視聴の可否判断や時間制限などをしてください。

●3Dメガネに異常・故障があったときは直ちに使用を中止してください。

そのまま使用するとけがや目の疲れ、体調不良の原因になることがあります。

●3Dメガネをかけたまま移動しないでください。

周りが暗くなり、転倒などによるけがの原因になることがあります。

●3Dメガネは、指定の用途以外には使用しないでください。

●3Dメガネを割れた状態で使用しないでください。

けがや目の疲れの原因になることがあります。

●3Dメガネを使用するときには周囲に壊れやすい物を置かないでください。

3D映像を実際の物に間違えて体を動かし、周囲の物を破損してけがの原因になることがあります。

●肌に異常を感じたら3Dメガネの使用を中止してください。

ごくまれに塗料や材質がアレルギーの原因になることがあります。

●鼻やこめかみが赤くなったり、痛み、かゆみを感じたら3Dメガネの使用を中止してください。

長時間の使用による圧力により発生することがあり、体調不良の原因になることがあります。

⚠注意

●3Dメガネに物を落としたり、力を加えたり、踏んだりしないでください。
破損してけがの原因になることがあります。

●3Dメガネのヒンジ部に指をはさまないようにしてください。
けがの原因になることがあります。特にお子様にご注意ください。

●3Dメガネを装着時は、フレームの先端にご注意ください。
目をついてけがの原因になることがあります。

2D→3D変換(再生/表示)機能利用時のご注意

2D→3D変換の機能を使う場合、次の点に注意してご利用ください。

・ 機器側での画像変換がおこなわれるため、オリジナルの映像と見え方に差が出ます。
・ 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、この機能を利用して2D映像を3Dに変換して表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

「CyberLink PowerDVD 3D」で3Dコンテンツを再生する

本製品では、「CyberLink PowerDVD 3D」を使用して、ブルーレイディスクやDVD、3Dに対応したファイルを立体的な映像で楽しむことができます。ここでは、「CyberLink PowerDVD 3D」で3Dコンテンツを再生する方法について説明します。

チェック!!
- 「CyberLink PowerDVD 3D」の詳しい操作方法や機能については、「CyberLink PowerDVD 3D」のヘルプもあわせてご覧ください。
- ポップアップでマウスを使用することができないコンテンツの場合には、「CyberLink PowerDVD マウス ソリューション」についてのメッセージ画面が表示されます。必要に応じて有効にしてください。

●ブルーレイ3D™ディスクを再生する

1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「CyberLink PowerDVD 3D」の「ソフトを起動」をクリックする

「CyberLink PowerDVD 3D」が起動します。

チェック!! 「CyberLink PowerDVD 3D」をはじめて起動した場合は、「3Dディスプレイを設定しますか?」というメッセージ画面が表示されます。本製品ではあらかじめ設定がおこなわれていますので、画面の「いいえ」をクリックし、手順2に進んでください。

2 3Dをクリックして、3Dにする

チェック!! すでに3Dが表示されている場合は、手順3に進んでください。

3 ブルーレイディスクをDVD/CDドライブにセットする

3Dコンテンツが再生されます。

チェック!!
- 3Dコンテンツが自動的に再生されない場合は、「CyberLink PowerDVD 3D」の表示画面の再生ボタンをクリックしてください。
- 「注意」が表示されたら、「OK」をクリックしてください。

4 添付の3Dメガネをかける

チェック!! コンテンツの再生を3Dから2Dに切り換えるには「CyberLink PowerDVD 3D」の3Dをクリックして、3Dにしてください。

●2DのDVD(AVCHDを含む)やブルーレイディスクを3Dで再生する

本製品では2DのDVDやブルーレイディスクを3Dに変換して再生することができます。

1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「CyberLink PowerDVD 3D」の「ソフトを起動」をクリックする

「CyberLink PowerDVD 3D」が起動します。

チェック!! 「CyberLink PowerDVD 3D」をはじめて起動した場合は、「3Dディスプレイを設定しますか?」というメッセージ画面が表示されます。本製品ではあらかじめ設定がおこなわれていますので、画面の「いいえ」をクリックし、手順2に進んでください。

2 3Dをクリックして、3Dにする

チェック!! すでに3Dが表示されている場合は、手順3に進んでください。

3 ディスクをDVD/CDドライブにセットする

3Dコンテンツが再生されます。

チェック!! 3Dコンテンツが自動的に再生されない場合は、「CyberLink PowerDVD 3D」の表示画面の再生ボタンをクリックしてください。

4 添付の3Dメガネをかける

チェック!! コンテンツの再生を3Dから2Dに切り換えるには、「CyberLink PowerDVD 3D」の3Dをクリックして、3Dにしてください。切り換えができない場合には、いったん再生を停止してから切り換えてください。

●サイドバイサイド方式の映像を再生する

本製品では、3D放送の録画番組や、市販されているサイドバイサイド方式の映像を再生することができます。再生するには、あらかじめ設定をおこなう必要があります。ここでは、3D放送を録画して保存したディスクを再生する方法について説明します。

チェック!! サイドバイサイド方式の映像の再生について詳しくは、「CyberLink PowerDVD 3D」のヘルプもあわせてご覧ください。

1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「CyberLink PowerDVD 3D」の「ソフトを起動」をクリックする

「CyberLink PowerDVD 3D」が起動します。

チェック!! 「CyberLink PowerDVD 3D」をはじめて起動した場合は、「3Dディスプレイを設定しますか？」というメッセージ画面が表示されます。画面の「はい」をクリックし、手順3に進んでください。

2 をクリックする

「3D ディスプレイの設定」が表示されます。

3 「ソース形式」タブをクリックする

4 「サイド バイ サイド形式」の●をクリックして、●にする

5 「OK」をクリックする

これで設定は完了です。

6 3Dをクリックして、3Dにする

チェック!! すでに3Dが表示されている場合は、手順7に進んでください。

7 ディスクをDVD/CDドライブにセットする

3Dコンテンツが再生されます。

チェック!! 3Dコンテンツが自動的に再生されない場合は、「CyberLink PowerDVD 3D」の表示画面の再生ボタンをクリックしてください。

8 添付の3Dメガネをかける

チェック!! コンテンツの再生を3Dから2Dに切り換えるには「CyberLink PowerDVD 3D」の3Dをクリックして、3Dにしてください。

●動画や静止画のファイルを3Dで再生する

本製品ではパソコンなどに保存した動画を3Dで再生したり、静止画をスライドショーにして3Dで鑑賞したりすることができます。ここでは、パソコンに保存したファイルを再生する方法について説明します。

1 「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音／英数字から選ぶ」-「CyberLink PowerDVD 3D」の「ソフトを起動」をクリックする

「CyberLink PowerDVD 3D」が起動します。

チェック!! 「CyberLink PowerDVD 3D」をはじめて起動した場合は、「3Dディスプレイを設定しますか？」というメッセージ画面が表示されます。本製品ではあらかじめ設定がおこなわれていますので、画面の「いいえ」をクリックし、手順2に進んでください。

2 3Dをクリックして、3Dにする

チェック!! すでに3Dが表示されている場合は、手順3に進んでください。

3 「ビデオ」タブまたは「写真」タブをクリックする

動画を再生する場合は「ビデオ」タブ、静止画を再生する場合は「写真」タブをクリックしてください。

4 「ソース」から、再生したいファイルの場所をクリックする

画面右にフォルダまたはファイルが表示されます。

5 再生したいファイルを表示して、クリックして選択する

フォルダをダブルクリックすることで中にあるファイルを表示できます。

6 再生ボタンをクリックする

3Dコンテンツが再生されます。

チェック!! 「注意」が表示されたら、「OK」をクリックしてください。

7 添付の3Dメガネをかける

チェック!! コンテンツの再生を3Dから2Dに切り換えるには「CyberLink PowerDVD 3D」の3Dをクリックして、3Dにしてください。

●3Dコンテンツを3D対応テレビに出力する

「CyberLink PowerDVD 3D」で再生する3Dコンテンツを、HDMI出力端子に接続した3D対応テレビに出力して視聴することができます。

チェック!! 設定方法など詳しくは、「ソフト＆サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ディスプレイ・画面の表示機能」-「外部ディスプレイと連携させる」をご覧ください。

「SmartVision」で番組を3Dで視聴する

テレビの3D放送の番組を立体的な映像で楽しむことができます。ここでは「SmartVision」で番組を3Dの映像として表示する方法について説明します。

チェック!!
・テレビを見る操作など、テレビに関する説明については『テレビを楽しむ本』をご覧ください。
・「ひかりTV」の3D放送の番組も、立体的な映像で楽しむことができます。「ひかりTV」の視聴方法などについては、『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

●3D放送のしくみと、このパソコンが対応している方式について

3D放送では、3Dで表示するための右目用の映像と左目用の映像を含んで放送しています。これを1つの画面に合成して表示し、3Dメガネの働きで3Dの映像として視聴することができます。BS11などの、すでに開始されている3D放送は、右目用と左目用の映像を左右に並べて放送する、サイドバイサイド方式で放送されています。このパソコンはサイドバイサイド方式の放送に対応しています。

●番組を視聴するモード(表示モード)について

このパソコンには、番組を視聴するモード(表示モード)として次のモードが用意されています。

・2D表示モード(2D／2D)
　2D放送(3D放送でない放送)を2Dで視聴するためのモード
・3D表示モード(3D／3D)
　3Dメガネを使用して、3D放送を視聴するためのモード
・3D変換モード(2D▸3D／2D▸3D)
　3Dメガネを使用して、2D→3D変換(再生/表示)機能によって、2D放送(3D放送でない放送)を3Dに変換して視聴するためのモード
・2D変換モード(3D▸2D／3D▸2D)
　3D放送を2Dに変換して視聴するためのモード

●3D表示モードへの自動切り換えについて

ご購入時の状態では、番組表で3Dが表示された番組を視聴すると、自動的に3D表示モードに切り換わるように設定されています。また、3D表示モードに自動的に切り換えたとき、画面右上に番組情報などと一緒に3Dが表示されます。

●3D表示モードに切り換える

「SmartVision」で3D放送の番組を視聴するときは、次の手順で3D表示モードに切り換えてください。3D放送の録画番組や、「ひかりTV」を視聴するときも同様です。

1 3D放送の番組を表示する

テレビを見る操作または録画番組を再生する操作をおこなってください。

2 次のいずれかの操作をおこなう

リモコンの場合:
【サブメニュー】を押し、表示されたメニューで「表示モード切換」-「3D表示」を選んで【決定】を押す。
(リモコンでの操作は、フルスクリーンモードのときのみ可能です。)
マウスの場合:
右クリックし、表示されたメニューで「表示モード切換」-「3D表示」(マウス用画面の場合「表示モード切換(3D ／ 2D)」-「3D表示」)をクリックする。

3D表示モードに切り換わります。

3 添付の3Dメガネをかける

2D表示モードに戻すときは、手順2と同様の操作で「表示モード切換」-「2D表示」(マウス用画面の場合「表示モード切換(3D ／ 2D)」-「2D表示」)を選んでください。

次の場合は、2D表示モードに切り換わるので、3Dメガネを外して視聴してください。

・ 2D放送(3D放送でない放送)にチャンネルを切り換えた
・ 録画番組や、「ひかりTV」ビデオサービスの再生を停止した

チェック!!

・ 2D表示モードに切り換えたときは、必ず3Dメガネを外してください。
・ 次の場合は、【サブメニュー】を押したり、右クリックしても、サブメニューに「表示モード切換」の項目が表示されません。
  ・「録画番組一覧」や「番組表」など、番組の映像以外の画面が表示されているとき
  ・映像を含まない独立データ放送などの番組が表示されているとき
  ・「ひかりTVホーム」の画面が表示されているとき
  ・HDMI出力端子に接続したモニタやテレビに映像を出力しているとき

●3Dのついた番組を視聴する

地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送では、番組表や録画番組一覧で3Dが付いた番組は、3D放送が開始すると、自動的に3D表示モードに切り換わります。

1 3D放送の番組を表示する

テレビを見る操作または録画番組を再生する操作をおこなってください。番組表や録画番組一覧で3Dのある番組が3D放送の番組です。

2 画面右上に3Dが表示されたら、添付の3Dメガネをかける

ご購入時の状態では、3D放送が始まると、画面右上に3Dが表示され、自動的に3D表示モードに切り換わります。3D表示モードで表示中、次の場合は2D表示モードに切り換わるので、3Dメガネを外して視聴してください。

・ 3D放送が終了した
・ 2D放送(3D放送でない放送)にチャンネルを切り換えた
・ 録画番組の再生を停止した

チェック!!

・ 3D放送の番組であっても、番組の開始時点など、3D放送がおこなわれていない部分では3D表示モードに切り換わりません。
・ 番組によっては、自動的に3D表示モードに切り換わらない場合があります。その場合は、映像が表示された状態で、リモコンの【サブメニュー】や、マウスの右クリックで表示されたメニューで表示モードの切り換えをおこなってください。
・ 録画ファイルのプロパティを変更して3Dを付けた録画番組は、再生したとき、自動で3D表示モードに切り換わりません。

●2D放送(3D放送でない放送)を3Dに変換して視聴する

2D放送(3D放送でない放送)の番組を3D変換モードに切り換えて、立体的な映像で楽しむことができます。変換後の映像は3Dメガネをかけて視聴してください。

2D放送(3D放送でない放送)の映像を表示している状態で、次の操作をおこなってください。

リモコンの場合:

【サブメニュー】を押し、表示されたメニューで「表示モード切換」-「3D変換(2D→3D)」を選んで【決定】を押す。
(リモコンでの操作は、フルスクリーンモードのときのみ可能です。)

マウスの場合:

右クリックし、表示されたメニューで「表示モード切換」-「3D変換(2D→3D)」(マウス用画面の場合「表示モード切換(3D ／ 2D)」-「3D変換(2D→3D)」)をクリックする。

3D変換モードに切り換わります。

チェック!!

- 3D変換の強弱を調節したいときは、3D変換モードに切り換えた後で、【サブメニュー】を押したり、右クリックして表示されるメニューの「3D変換レベル」から調節してください。
- 3D変換モードで視聴する際、映像の左右端に3D変換されない部分がありますが、これは変換処理に伴うものです。
- DTCP-IPに対応したメディアサーバーに保存された録画番組を再生している場合、3D変換モードに切り換わるとき、3D変換モードからほかの表示モードに切り換わるとき、および3D変換レベルを変更するときは、再生映像が画面にいったん表示されなくなります。

●3D放送を3Dメガネを使用しないで視聴する(2D変換モードで視聴する)

3D放送の番組を2D(2D変換モード)の映像に切り換えると、3Dメガネをかけずに視聴することができます。
3D表示モードで映像を表示している状態で、次の操作をおこなってください。

リモコンの場合:

【サブメニュー】を押し、表示されたメニューで「表示モード切換(3D表示)」-「2D変換(3D→2D)」を選んで【決定】を押す。
(リモコンでの操作は、フルスクリーンモードのときのみ可能です。)

マウスの場合:

右クリックし、表示されたメニューで「表示モード切換(3D表示)」-「2D変換(3D→2D)」(マウス用画面の場合「表示モード切換(3D ／ 2D)」-「2D変換(3D→2D)」)をクリックする。

2D変換モードに切り換わります。

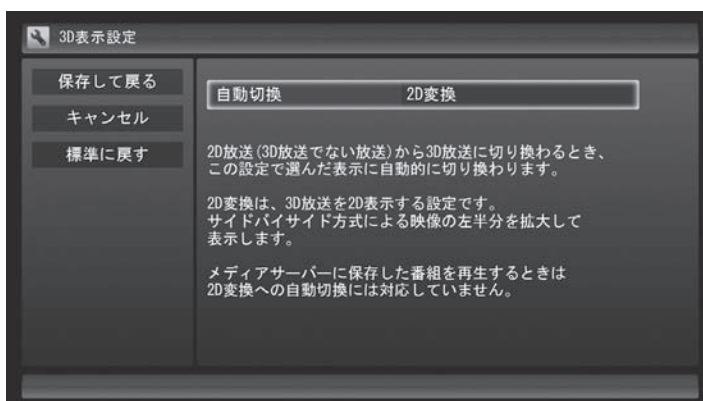
●3D放送が開始されたとき、自動的に2D変換モードになるように設定を変更する

ご購入時の設定では、番組表で3Dのある番組を視聴したとき、3D放送が開始されると、3Dメガネをかけて視聴する3D表示モードに自動的に切り換わります。テレビを視聴しながらインターネットやゲームも同時に楽しむ場合など、2D表示(2D変換モード)で視聴することが多い場合は、3D放送が開始されたとき、自動的に2D変換モードになるように設定を変更すると、切り換えの手間が少なくなります。次の手順で設定を変更することができます。

1 テレビメニューを表示する

2 「設定」-「3D表示設定」を選択する

「3D表示設定」が表示されます。

3 「自動切換」メニューから「2D変換」を選択する

4 「保存して戻る」を選択する

チェック!!

- この設定変更をおこなうと、3D放送が開始されても、映像が通常の2D放送(3D放送でない放送)のように表示されます。画面右上に3Dが表示されている場合、リモコンの【サブメニュー】や、マウスの右クリックでメニューを表示し、3D表示モードに切り換えることができます。
- 「ひかりTV」は、自動切り換えに対応していません。このため、「ひかりTV」を視聴時は、この設定変更のメニューは表示されません。
- DTCP-IPに対応したメディアサーバーに保存された録画番組を再生しているとき、3D表示モードを手動で変更すると、その再生が停止するまで自動切り換えは無効になります。

●映像がおかしいとき

自動的に3D表示モードや2D変換モードに切り換わらない場合など、画面の表示がおかしいときは、次の対処方法をご覧になり、設定や確認をおこなってみてください。

表示される映像	対処方法
縦に引き伸ばされた映像が2つ左右に並んで表示されている	3D放送が2D表示モードで表示されています。「ひかりTV」の3D放送も同様です。3Dメガネをかけないで視聴するときは、2D変換モードへ切り換えてください。3Dメガネをかけて視聴するときは3D表示モードへ切り換え、3Dメガネをかけてください。
縦に引き伸ばされた映像が2つ並んで表示され、映像の一部がぼやけたり、ダブって表示されている	3D放送が3D変換モードで表示されています。リモコンの【サブメニュー】を押す（フルスクリーンモードのときのみ）、またはマウスを右クリックして表示されたメニューで、次のモードに切り換えてください。 3Dメガネをかけて視聴する場合：3D表示モード 3Dメガネをかけずに視聴する場合：2D変換モード
画面全体がぼやけたり、映像の一部が2重にダブって表示されている	3D放送が3D表示モードで表示されている、または2D放送（3D放送でない放送）が3D変換モードで表示されています。 3Dメガネをかけて視聴してください。 3Dメガネをかけずに視聴する場合は、次のモードに切り換えてください。 3D放送を視聴するとき：2D変換モード 2D放送を視聴するとき：2D表示モード 正しく設定されている状態で3Dメガネをかけて視聴していても、このように表示されている場合は、「3Dコンテンツを視聴するときのご注意」(p.4)をご覧になり、3Dメガネを正しい方法でかけていることを確認してください。
左半分と右半分の映像が重なって表示されている	2D放送（3D放送でない放送）が3D表示モードで表示されています。映像を表示している状態で、リモコンの【サブメニュー】を押す（フルスクリーンモードのときのみ）、またはマウスを右クリックして表示されたメニューで、2D表示モードへ表示を切り換えてください。
左半分の映像が左右に引き伸ばされて表示されている	2D放送（3D放送でない放送）が2D変換モードで表示されています。映像を表示している状態で、リモコンの【サブメニュー】を押す（フルスクリーンモードのときのみ）、またはマウスを右クリックして表示されたメニューで、2D表示モードへ表示を切り換えてください。

●3D表示モードで視聴するときのご注意

・2D放送(3D放送でない放送)が表示されているときに3D表示モードに切り換えると、映像が大きく乱れます。必ず2D表示モードまたは、3D変換モードに切り換えて視聴してください。
・2D放送(3D放送でない放送)を、3D表示モードで3Dメガネをかけて視聴しないでください。3Dメガネをかけたまま2D放送(3D放送でない放送)を3D表示モードで視聴し続けると、気分が悪くなることがあります。3D放送終了後に自動的に2D放送(3D放送でない放送)に切り換わったときは特にご注意ください。
・データ放送では、映像の一部が乱れることがあります。

●HDMI出力についてのご注意

・HDMI出力端子に接続するとき、3D放送の映像を2D表示モード(サイドバイサイド方式の映像)で出力します。また、HDMI出力端子から出力中は3D表示モードに切り換えることができません。
・HDMI出力端子に接続した3D対応テレビなどで3D放送を視聴する場合、「SmartVision」をフルスクリーンモードに変更し、テレビ側の表示モードを適切に設定してください。また、3D対応テレビの機能で3D表示をおこなう場合、字幕が正常に表示されません。

3D対応ソフトについて

次のソフトで3Dコンテンツを楽しむことができます。

チェック!! ソフトの詳しい使い方については各ソフトのヘルプをご覧ください。

ソフト	機能の説明	始め方
CyberLink MediaShow 3D	インターネット上のFUJIFILM 3D プリントサービスを利用することや2Dの写真や映像の3D変換、3D写真の補正などができます。	「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50音/英数字から選ぶ」-「CyberLink MediaShow 3D」の「ソフトを起動」をクリック

●「CyberLink MediaShow 3D」について

「CyberLink MediaShow 3D」を使用して、2Dの画像や映像を簡単に3Dに変換することや、インターネット上の「FUJIFILM 3D プリントサービス」に3D画像をアップロードして3D画像のプリントを注文することができます。操作方法や機能など、詳しくは、「CyberLink MediaShow 3D」のヘルプをご覧ください。

・「FUJIFILM 3D プリントサービス」をご利用の際には本サービス内にある「ご注文の前にお読みください！」をご確認ください。 写真によっては十分な3D効果が得られない場合があります。
・「FUJIFILM 3D プリントサービス」は富士フイルム株式会社の都合により変更されることがありますのでご注意ください。

こんなときは

●映像がぼやけて表示される

・「3Dコンテンツを視聴するときのご注意」(p.4)をご覧になり、3Dメガネを正しい方法でかけていることを確認してください。

3Dメガネをかけずに3D映像を見た場合、映像がぼやけて表示されているように見えますが、これは3D映像の特性であり、本製品の故障ではありません。
「CyberLink PowerDVD 3D」で映像の再生を3Dから2Dに切り換える場合は、「「CyberLink PowerDVD 3D」で3Dコンテンツを再生する」(p.9)をご覧になり、設定を変更してください。

●画面の、3D映像が表示されていない部分に水平方向の線が表示される

映画視聴時の画面上下の黒幕部分など、3D映像が表示されていない部分に、画面と水平方向の線が表示される場合がありますが、本製品の故障ではありません。

●3D映像が表示されない、視聴できない

・「3Dコンテンツを視聴するときのご注意」(p.4)をご覧になり、3Dメガネを正しい方法でかけていることを確認してください。
・「CyberLink PowerDVD 3D」をご使用の場合は、「「CyberLink PowerDVD 3D」で3Dコンテンツを再生する」(p.9)やヘルプをご覧になり、ソフトの設定が適切におこなわれていることを確認してください。
・インテル® ワイヤレス・ディスプレイを使って接続されたテレビやディスプレイ(3D映像に対応したものを含む)に3D映像を表示することはできません。
・ぱっと観テレビは3Dの映像に対応しておりません。

上記の内容を確認しても改善されない場合は、「3Dコンテンツを視聴するときのご注意」(p.4)をご覧になり、画面からの距離や姿勢などを少しずつずらして正常に見える位置を探してみてください。

3D対応モデルを
ご購入いただいたお客様へ

初版　2013年2月
NEC
853-811064-282-A
Printed in Japan

NECパーソナルコンピュータ株式会社
〒141-0032　東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。